

# 土浦市地籍調査事業

## 地 籍 測 量 作 業 仕 様 書

- (1) 委託番号 : 地籍国委第1号
- (2) 委託件名 : 烏山【Ⅳ】【Ⅲ】地区 地籍調査事業測量業務委託
- (3) 委託場所 : 土浦市烏山五丁目地内外
- (4) 委託期間 : 契約の翌日から令和9年3月19日まで
- (5) 委託内容 : 烏山【Ⅳ】地区
  - 一筆地調査 (E 工程) 0.14
  - 地籍細部測量 (F I 工程) 0.14
  - 一筆地測量 (F Ⅱ－1 工程) 0.14
  - 烏山【Ⅲ】地区
  - 地籍図原図作成 (F Ⅱ－2 工程) 0.25
  - 地積測定 (G 工程) 0.25
  - 地籍図複図作成 (H 工程) 0.25
- (6) 部分払い なし

### 1 目 的

この仕様書は、令和8年度 土浦市地籍調査事業 烏山【Ⅳ】地区の一筆地調査及び地籍測量（地籍細部測量・一筆地測量）、烏山【Ⅲ】地区の地籍図原図・複図作成及び面積計算測定に係る仕様書である。

この仕様書に定めのない事項については、次の法令及び規程等を準用するほか、本市の指示によること。

- (1) 国土調査法（昭和26年6月1日付法律第180号）
- (2) 国土調査法施行令（昭和27年3月31日付政令第59号）
- (3) 地籍調査作業規程準則（昭和32年10月24日付総理府令第71号）
- (4) 地籍調査作業規程準則運用基準（平成14年3月14日付国土国第590号 国土交通省土地・水資源局長通知）
- (5) 基準点測量作業規程準則（昭和61年11月18日付総理府令第51号）
- (6) 調査図素図表示例（昭和32年10月24日経企土第179号経済企画庁 総合開発局長通達）
- (7) 地籍測量及び地積測定における作業の記録・成果の記載例＜地上法版＞（平成29年度版）

### 2 作 業 緒 元

- (1) 作業区域

別添位置図に示す区域

(2) 面 積

烏山【Ⅳ】地区             $A=0.14$

烏山【Ⅲ】地区             $A=0.25$

(3) 筆 数

烏山【Ⅳ】地区            約600筆（調査前）

烏山【Ⅲ】地区            427筆（調査後）

(4) 作業の精度区分

烏山【Ⅳ】地区            精度 甲2                    縮尺 1/500

烏山【Ⅲ】地区            精度 甲3                    縮尺 1/500

### 3 作 業 内 容

- (1) 法務局での資料調査（地積測量図のコピーを含む）（E工程）
- (2) 調査図一覧図及び調査図素図の作成（E工程）
- (3) 市職員と同行し、長狭物・一筆地の調査。（E工程）
- (4) 地籍細部測量（FⅠ工程）
- (5) 一筆地測量（FⅡ－1工程）
- (6) 境界杭に境界点番号の貼り付け業務。（FⅡ－1工程）
- (7) 地籍図原図作成（FⅡ－2工程）
- (8) 地積測定（G工程）
- (9) 地籍図複図作成（H工程）

### 4 測 量 方 法

- (1) トータルステーション
- (2) 座標系は世界測地系（2024）

### 5 作 業 順 序

作業は次に挙げる順序で行うものとする。

- (1) 長狭物・一筆地調査編（E工程）
  - ① 調査図一覧図及び調査図素図は、法務局備え付けの公図を使用して作成し、地籍調査作業規程準則、運用基準及び調査図素図表示例等に基づいて行うこと。
  - ② 長狭物調査及び一筆地調査は、市の職員に同行のうえ行うものとし、作業日程については、監督員の指示に従うこと。
  - ③ 長狭物の調査にあたっては、事前に各管理者から立会い査定図等の資料を収集したうえで調査を行うこと。
  - ④ 一筆地調査は、事前に土地登記簿及び地積測量図等をよく確認したうえで、土地の地番・地目・筆界の調査に臨むこと。

- ⑤ 各筆の筆界の確認は、地籍調査における最も重要な作業の一つであり、調査を円滑かつ迅速に実施する為にも、筆界の確認にあたっては特に入念に対処すること。
- ⑥ 各日程において行われた長狭物及び一筆地調査の結果は、速やかに報告書の提出をすること。

## (2) 測 量 編

### ① 地籍細部図根測量 (F I 工程)

イ. 選 点

ロ. 標識の設置

ハ. 観測及び測定

ニ. 座標計算

ホ. 成果の取りまとめ

※ 本工程は、電子基準点に整合の取れた地籍図根点等の使用により、  
D工程 (地籍図根多角測量) を省略したF I 工程を実施する。

### ② 一筆地測量 (F II - 1 工程)

イ. 境界点の観測

ロ. 座標計算

ハ. 成果の取りまとめ

## (3) 地籍図の原図作成 (F II - 2 工程)

地籍図一覧図, 地籍図原図, 筆界点番号図, 筆界点成果簿等の作成

## (4) 地積の測定 (G 工程) 及び点検

地積測定及び計算

## (5) 地籍図の複図作成 (H 工程)

地籍図の複図作成

## 6 作業実施にあたり特に次の事項について留意すること。

- (1) 地籍図根点等における標識は、コンクリート杭・プラスチック杭・金属標等を使用すること。
- (2) 作業実施中、市の担当者からの要求により作業進捗状況に関する資料等の提出を求められた場合は、遅滞なく取り揃えて提出しなければならない。
- (3) 作業従事者名簿は、作業着手前に提出すること。

なお、作業途中に異動があった場合には速やかに、その旨を報告しなければならない。

- (4) 受託者（以下「乙」という。）は、業務上知り得た個人情報を外部に漏らしてはならない。
- (5) 業務上収集した情報を発注者（以下「甲」という。）の許可なく複写及び加工し、庁外に持ち出してはならない。
- (6) 乙は、業務の実施にあたり、甲が貸与する国土調査法第24条第3項の規定に基づく身分証明書を携帯し、関係人の請求があった場合には、これを提示すること。
- (7) 調査の為に他人の土地に立ち入る場合は、あらかじめ当該土地所有者または既住者にその旨を連絡することとし、関係地権者等に不信感を抱かれる様な行動を取ってはならない。
- (8) 乙は、本業務完了後、速やかに身分証明書を甲に返納すること。
- (9) 業務実施にあたり、乙が第三者に与えた損害は、乙の責任において補償するものとする。この場合、乙は甲に対し、報告義務を負う。
- (10) 乙は、本業務中交通の妨害となるような行為は勿論、公衆に迷惑を及ぼさない様に下記に留意して作業をしなければならない。
  - ① 本業務従事者は、常に言動には十分留意し、無益な摩擦や紛争を起こさないこと。
  - ② 本業務中、事故が生じた場合は、所要の措置を講ずると共に事故発生の原因・経過及び事故による被害の内容について速やかに甲に報告すること。

## 7 使用資材規格（測 量）

- (1) コンクリート杭 10cm×10cm×70cm以上
- (2) プラスチック杭 4.5cm×4.5cm×45cm以上  
7cm×7cm×60cm以上
- (3) 金 属 鉋  $\phi$  50mm×70mm以上
- (4) ポリエステルフィルム  
#300以上 A-3版 297×420 mm

## 8 成 果 品

- (1) 納入期限 令和9年3月19日まで
- (2) 納入場所 土浦市役所 建設部 道路管理課 地籍業務係
- (3) 納入成果品
  - ① 一筆地調査
    - ア. 調査図一覧図
    - イ. 調査図素図
  - ② 地籍細部測量

- ア. 測量作業の工程
- イ. 細部図根点成果簿
- ウ. 細部図根点選点図
- エ. 細部図根点平均図
- オ. 細部図根測量観測計算諸簿
- カ. 細部図根点網図
- キ. 点検測量記録簿および観測手簿
- ク. 精度管理表（点検測量分含む）
- ケ. 基準点標識の設置状況写真

③ 一筆地測量

- ア. 一筆地測量筆界点成果簿
- イ. 一筆地測量観測計算簿
- ウ. 一筆地測量精度管理表
- エ. 点検測量の結果
- オ. 筆界点標識の状況写真

④ 地籍図原図作成

- ア. 地籍図一覧図
- イ. 地籍図原図
- ウ. 筆界点番号図

⑤ 地積測定

- ア. 一筆ごとの面積計算書
- イ. 地積測定成果簿

⑥ 地籍図複図作成

- ア. 地籍図複図

④ その他、特に監督員が指示するもの。

※ 簿冊の分合は任意であるが、その表題、分冊の順等は明確でなければならない。

- 9 乙は、一連の委託作業に関し滞りのない様、国土調査関係法令集や地籍調査必携等の参考文献を熟読すること。

また、業務実施にあたり、疑義が生じた場合には、甲・乙双方によって協議をすること。

- 10 全作業が完了して成果品納入後であっても、本地区の成果が認証を受けるまでに作業実施機関の責による誤り等が発見された場合は、計画機関の指示により修正、または再測の義務を負うものとする。